

総選挙

増税勢力に厳しい審判を



民主・自民・公明の3党が密室談合で、消費税増税法案を強行可決しました。世論調査でも今国会での消費税増税に反対する声は、7割を超えています。国民多数の声を踏みにじる蛮行です。消費税増税と社会保障の切り捨ては、国民負担にして20兆円、こんな負担を強行したら、国民の暮らしも財政も大変なことになるでしょう。

民主党は「4年間は消費税をあげない」と公約して、政権を獲得したのではなかったのでしょうか。こんなひどい公約違反はありません。

消費税の増税は、再来年の4月からです。それまでに行われる総選挙と参議院選挙で、増税3党に厳しい審判を下し、国会の力関係を大きく変えましょう。日本共産党を大きく伸ばしていただいで、増税の実施を食い止めてください。



日本共産党道7区国政対策委員長
(衆院選小選挙区予定候補)

佐々木りょう子

民自公の密室談合で 消費税増税法案を強行

TPP参加を断念させよう

TPP参加へとひた走る民主党、アメリカなどとの「事前協議」で、大変な中身が明らかになりました。例外なしの関税ゼロ、重要品目は例外にできると説明されてきましたが、事前協議では、「関税ゼロは、例外なし」「全品目を交渉のテーブルにのせる」と約束させられました。

理不尽なアメリカの対日要求
- 日本の法律をつくるたびに、アメリカ産業の利害関係者を参加させる
- 「BSE対策のための米国产牛肉の輸入規制を緩和せよ」
- 「防カビ剤の表示義務をなくせ」
- 「営利会社の医療への参入をみとめる」
- 「日本の薬価決定の際、アメリカ企業に口だしさせる」
- 「高速道路、鉄道、都市開発」
- 「公共事業に米企業を参加させる」
アメリカの要求は際限ありません。

交渉内容は国民に知らせるな
- 交渉内容は4年間秘密にする
こんな約束もありました。「説明責任を果たす、十分な国民的議論で決める」という政府の言い分は全くあてにありません。

「なし崩し的に交渉参加は、国民をだます背信行為」(JA全国集会)
- 「日本の参加に全面的に反対」(日本医師会) など各団体がTPP参加反対を表明、この声は日ごとひびがっています。日本共産党は、TPP参加反対の一点での共同をさらに大きくひろげるために全力をつくします。




制度解説

1回目
(記載例)
小選挙区選挙の投票は候補者名を書きます



2回目
(記載例)
比例代表選挙の投票は「日本共産党」と政党名を書きます



「日本共産党」と書いていただければブロックごとの得票数に応じて党の議席数が決まり、名簿の順に当選します

こんどの衆院選挙では2回投票します

